

「第2次安曇野市観光振興ビジョン(案)」に関するパブリックコメントについて(実施結果)

資料 2

- 1 対象 市内に住所を有するか勤務、通学する人。または市内で事業などを行う個人や団体など。
 2 募集期間 令和4年11月28日(月曜日)から令和4年12月28日(水曜日)まで
 3 提出件数 37件(7個人・事業者)
 4 募集結果 「第2次安曇野市観光振興ビジョン(案)」に関する意見等一覧

No.	提出者	頁	項目	意見・質問(要約)	市の回答・考え方
1	A	43	SNS・インフルエンサーなどを活用した関係人口の創出	<p>「観光移住」を提案。 観光は従来の「見る・買う・食べる」から「体験型」に変化。 「思い出作り」と「地域の人との触れ合い」がポイントになって来ている。 関係人口と言う考え方にも通じ、観光をキッカケに移住する方も増えている。 安曇野は高速道路・JR・空港も近くにあり、交通の利便性や居住環境もよく住むのに適している。最も良いのは、北アルプスの大自然があり他の地域とは全く違い、移住者も多い。 この魅力を発信するには、市民の力を使ったSNSによる魅力情報発信が有効。例えば、市民から「安曇野インフルエンサー」を募集して自由に発信してもらおう。情報発信のポイントは ① 良い事② 悪い事や不便な事も、正直に発信すること。今の若い人は、正直な情報発信に共鳴する。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺いし、今後の施策展開の参考にさせていただきます。</p>
2	B	表紙 20 21	ビジョン コンセプト	<p>表紙にあるビジョン(コンセプト)がよく分からない。全体がよく見えない。～期待され、信頼される観光地づくり～の意味が分からない。分かりやすい言葉にした方が良い。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 目指す姿としてお示したコンセプトはビジョン全体の基本的な考え方や方向性を短く表現した理念になります。ご意見としてお伺いし、ご指摘を踏まえて周知に当たっては、20、21頁に掲載した具体的な意図等について丁寧な説明を行います。</p>
3	B	10	主な観光資源・エリアと特徴	<p>主要観光スポットに下記を追加してはどうか。 「東山アウトドアスポット」犀川、万水川、前川、カヌースラローム、ラフティング、長峰山、パラグライダー、ハングライダー 「旧国鉄廃線敷漆久保トンネル」近代化を支えた旧国鉄遺構 「犀川白鳥湖、御宝田遊水池」白鳥の飛来地</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご提案いただいた件につきましては、10頁の主な観光資源の「山岳観光」に東山アウトドアスポット関係の記載を追記させていただきます。</p>
4	B	14 15	安曇野市の観光産業の課題	<p>安曇野市単独で3日間は楽しめるプランを作る必要がある。受入体制の問題がある。そのためには「まちづくり」が必要である。 松本市はアルピニスト憧れの山岳都市としてイメージができていますが、「安曇野」という地域を総称するイメージはあっても、<u>まち</u>として、「山岳都市」になっていない。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺いし、今後の施策展開の参考にさせていただきます。</p>

No.	提出者	頁	項目	意見・質問(要約)	市の回答・考え方
5	B	14 15	安曇野市の観光産業の課題	駅を起点に2次交通を考えるべき。国際空港・大都市圏とのアクセスでは明科駅の位置づけが重要。明科駅から市内各所の2次交通をネットワーク化することが利便性を高める。のんびりと暮らす50代以上の観光客が、大糸線に揺られて穂高駅で降りるといった旅行スタイルが現在の主流だが、北陸新幹線を使って安曇野に降り立つスタイルを真剣に考える時期に来ている。安曇野市観光の起点をどこにして、ストーリーを展開するか、再構築する必要がある。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえ、周遊を促す東山観光を含めた駅を起点とした視点の必要性について追記いたします。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺いし、今後の施策展開の参考にさせていただきます。
6	B	14 15	安曇野市の観光産業の課題	個人旅行の中でもターゲットを絞ってマーケティング(行動・趣味などの特性分析)することが、「安曇野」のイメージと、お客様とのマッチングにつながる。ターゲットを明瞭にすることが大切。それにより、重要な手段である交通体系への施策が決まってくる。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のマーケティングについては、28、29頁の観光地ブランドの確立や重点プロジェクトの一つ56、57頁掲載の「観光地「AZUMINO」ブランド向上プロジェクト」の推進の中で取組ます。
7	B	14 15	安曇野市の観光産業の課題	団体旅行から個人旅行への旅行形態の変化やインバウンドの再開、カーボンゼロを目指す視点からマイカーでは無く、公共交通を使った国際空港・大都市圏からのアクセス時間を3時間以内にする。	ご意見ありがとうございます。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺いし、今後の施策展開の参考にさせていただきます。
8	B	14 15	安曇野市の観光産業の課題	国内観光地の主流は公共交通ではないか。インバウンドはまさに、公共交通。駅を中心としたコンパクトシティと、それらをつなぐネットワークコンパクトシティで基幹交通手段を整備する(駅に到達すれば、そこから別の地点まではたどり着ける2次交通手段を整備する)ことが重要。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえ、駅を起点とした視点の必要性について追記いたします。 ご提案いただいた件につきましては、今後の施策展開の参考にさせていただきます。
9	B	18	サステナブル・ツーリズム	「地域に暮らすように旅する人たち」というイメージだと思いが、持続可能な観光の対象が観光客なのか事業者なのかわかりづらい表現。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、サステナブル・ツーリズム(持続可能な観光)は、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを実現するために、観光客、業界、環境及び観光客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、現在・将来の経済、社会、環境への影響を十分に考慮した観光スタイルです。ビジョンの周知・施策の展開に当たっては、ご意見を踏まえて必要性を含め丁寧な説明を行います。
10	B	19	観光客の意識・スタイルの変化	「観光客の意識・スタイルの変化」は、重要なポイントにつき、分析と対策を具体化すべき。	ご意見ありがとうございます。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺いし、今後の施策展開の参考にさせていただきます。

No.	提出者	頁	項目	意見・質問(要約)	市の回答・考え方
11	B	19	デジタル活用の重要性の高まり	スマホアプリで、地域丸ごと「オールインクルーシブ」旅行を提供してはどうか。宿泊、食事、アクティビティをオールインクルーシブ10万円(2泊3日2名様)+イクスカーション(有料)のような形で加盟店で決済。ホテルの広大な敷地を対象とした地中海クラブのパックツアーの地域版として、スマホアプリを活用すれば安曇野地域をホテルの敷地ととらえたツアーが可能ではないか。中山間地の空き家を利用すれば、「住むように旅をする1週間」のような商品ができるのではないか。	ご意見ありがとうございます。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺いし、今後の施策展開の参考にさせていただきます。
12	B	20 21	コンセプト	交通政策を大きな柱に据えた方がよい。域内のことではなく、広域でとらえ、ツーリストの発地から考えることが重要。国際空港・大都市圏からの距離感(時間)が指標だと考える。	ご意見ありがとうございます。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺いし、今後の施策展開の参考にさせていただきます。
13	B	20 21	コンセプト	3つの柱、10の基本戦略、29の施策については論理的検討がれたことは理解するが細かすぎる気がする。進捗管理や計画の修正などの事務仕事が主になり、肝心の現場を見て施策を打つことがないがしろになる可能性がある。ビジョンに示す内容は、もう少し大所高所からの内容で、具体的な計画内容は、下位文書の内容として盛り込まなくてもよいのではないか。分かりやすく共感できる内容が大切で、シンプルな内容にすべきではないか。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の点を踏まえ、今後の施策展開の中で配慮させていただきます。
14	C	29	天蚕を活用した観光振興	安曇野で生産された天蚕の恩恵を後世に残す活動は、天蚕センターに限らず行われている。国営アルプスあづみの公園では「さとやま楽校のやまこの教室」の取組として、天蚕飼育林の管理、成虫の生育管理、繭の生産、糸の生産、そして織物やコサージュなどの生産販売といった活動を民間人が主催者となって行っているため追記記載を検討して欲しい。	ご意見ありがとうございます。 追記記載については、市観光課が進捗管理(点検評価等)を行うもので、観光振興を軸とした取組としていることから追記掲載は行いませんが、ご提案いただいた件につきましては、今後の施策の展開の参考にさせていただきます。 同じ考え方から連携主体として記載のある「ふるさとづくり応援団」の記載を除きます。
15	D	10 ~ 16	安曇野市観光の現状と課題	安曇野の最大の売りは「広大な田園風景」と北アルプスの眺望」。観光の重点地区は穂高地区で、大切なことは景観保全にある。東の大王わさび田、西の山麓線について、市としてこの地区を何をやる場所か明確にすべき。「景観形成住民協定区域」を穂高温泉郷温泉郷や有明山通りに拡大し、ゾーンとして景観を守っていくべき。池田町は景観保全のためのガードレールを茶色に塗っている。安曇野を他とは違った高付加価値のある大人の街にしたいもの。短期でできないなら5年後・10年後には綺麗に。	ご指摘のとおり、安曇野市の観光は景観を前提に成り立っております。景観については安曇野市景観計画及び景観条例により別途定めており、緑化の推進、水辺の保全と活用、道路景観の保全、良好な眺望を享受できる視点場の保全が今後の景観づくりの方針として定められています。ご意見を踏まえ、今後の施策の展開に当たっては必要に応じ関係部署と調整の上、進めていきます。
16	D	10 ~ 16	安曇野市観光の現状と課題	廃業した場合の看板撤去は義務に。	看板等の規制については、安曇野市屋外広告物条例に定めており、広告物等の表示又は設置が必要でなくなった際は、広告物の除去を義務付けています。ご意見を踏まえ、今後の施策の展開に当たっては必要に応じ関係部署と調整の上、進めていきます。

No.	提出者	頁	項目	意見・質問(要約)	市の回答・考え方
17	D	10 ～ 16	安曇野市観光の現状と課題	自動車やレンタサイクルで巡る場合に必要な道案内版は、日本語と英語の2か国語表示にすべき。現在地に限らず、通りの名称、行き先の表示も必要。	平成30年10月に策定した、「安曇野市公共サインガイドライン」において、公共系サインと観光系サインの統一的な設置基準を定めており、言語についても日本語・英語の2か国語を表示することとしております。市のサイクリングコースの案内表示についても、同ガイドラインに準拠して整備を行っております。
18	D	45	主な観光イベント	安曇野の魅力を発信し続けている11月の「安曇野スタイル」が入っていないのはなぜか。	ご意見ありがとうございます。 掲載イベントについては、基本的に市観光課が進捗管理（点検評価等）を行うもので、市・観光協会が構成団体として関わる観光振興を軸とした取組とさせていただいております。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺いし、今後の施策展開の参考にさせていただきます。
19	D	10 ～ 16	安曇野市観光の現状と課題	安曇野は景観が売りなので、観光撮影ポイントには地権者に迷惑をかけないように駐車場・駐輪場の確保。そして、お客様に「田んぼには入らない」などの注意告知が必要。	ご指摘のとおり、安曇野市の観光は景観を前提に成り立っていることを認識し本ビジョンでは持続可能な観光地経営に取組ます。景観については安曇野市景観計画及び景観条例により別途定めており、緑化の推進、水辺の保全と活用、道路景観の保全、良好な眺望を享受できる視点場の保全が今後の景観づくりの方針として定められています。駐車場・駐輪場の確保及び注意告知については、ご意見として承ります。
20	D	10 ～ 16	安曇野市観光の現状と課題	安曇野の魅力に気がついたお客様は「また行きたい」とか、「別荘を持ちたい」とか「移住したい」と思うようになる。ヒト・モノ・カネも大切だが先ずは、近隣の道の掃除から、環境・景観保全、そしてお客様への丁寧な接客からだと思う。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の点については、49頁の施策3-1-4「来てみてよかった安曇野づくり」の中で取り組むこととしております。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺いし、今後の施策展開の参考にさせていただきます。
21	D	-	全体	PDCAやSDGsなど「横文字」・「はやり言葉」の羅列が気になる。日本語で記載して欲しい。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
22	E	-	全体	第1次安曇野市観光振興ビジョンはかなり良いものだったと思うが、今回策定されたものは全くの別物という感じがする。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

No.	提出者	頁	項目	意見・質問(要約)	市の回答・考え方
23	E	-	全体	第1次安曇野市観光振興ビジョンの施策やビジョンを実行するために 行った実施事業などの総括や反省が見当たらない。第1次安曇野市観 光振興ビジョン策定検討委員による総括と反省と今後への提言がある べきだと思う。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、現行(第1次)安曇野市観光振興ビジョン の点検評価等を踏まえたビジョン策定を行うため、本ビジョ ン策定に当たっては、安曇野市観光振興ビジョン有識者会 議における点検評価及び今後の意見を踏まえています。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺い し、今後の施策展開の参考にさせていただきます。
24	E	9	観光振興の位置づけと役割	観光と市の人口の増加についてどのような感覚を持っているか。アン ケートの結果からも安曇野観光の魅力は自然環境や田園風景などに 大きなウエイトがある。また、市民の意識調査にも人口増加につい ては何もないと見受けられる。 また、観光振興により移住促進とあるが、現在、農業従事者の高齢化 に伴い遊休農地が増え、さらには近年は空き家が増えている状況、山 麓部の別荘地帯でも空き家が増え、遊休農地が時として宅地分譲され ている。移住促進は自然環境や田園風景の破壊促進につながるの ではないか。	ご意見ありがとうございます。 本市の強みである自然環境や田園風景といった地域資源 が損なわれることなく活用され市民の郷土愛の醸成にもつ ながる取組となるよう参考とさせていただきます。 ご指摘の点は全市的取組内容に及ぶことから本ビジョンで は市・観光協会が構成団体として関わる観光振興を軸とし た掲載とすることで必要に応じ関係部署と調整の上、取組を 進めていきます。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺い し、今後の施策展開の参考にさせていただきます。
25	E	45	イベントによる観光交流人口 の拡大	『イベントによる観光交流人口の拡大～新規創出と満足度の向上～』 など全くもって時流に合っていないと思う。多くの観光地がイベントを考 えている時代か。常に新たなイベントを考えないと一過性である観光 客は先細りの一方。ゆえに外国からの観光客をあてにしているのでは ないか。	ご意見ありがとうございます。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺い し、今後の施策展開の参考にさせていただきます。
26	E	29	山岳観光の推進	観光地ブランドの確立として、『山岳観光の推進』が取り上げられて いるが、そもそも一歩間違えば命の危険がある登山(登山専用の衣 服、ザック、装備、状況判断)。ここでいう山岳観光が光城山や長峰山 登山であるならば話は違うが、登山は観光とは別次元のものであり観 光とは切り離し、大きな施策として取り上げるべき事項。 あえて山岳観光を上げるなら、ロープウエーや車で頂上近くまで行け ることが山岳観光に必要なこと。まず北アルプスにロープウエーを設 置するか山岳道路を敷設するかといった大きな問題を解決する必要があ る。すでに、燕岳や常念岳はブランドとしては最強のものだという自覚 が必要ではないか。	北アルプス登山のように、十分な準備と経験を要するアク ティビティについても、現に多くの誘客があるコンテンツであ ることから観光振興に資するものとして位置付けておりま す。 北アルプス山域については、中部山岳国立公園内であり、 自然公園法に定める特別地域にあたることから、ロープ ウエーや山岳道路の新設等は困難であると考えております が、ご意見として承ります。 なお、登山者への安全啓発などについては、北アルプス南 部地区山岳遭難防止対策協会等の関係機関と連携して取 り組んでいます。

No.	提出者	頁	項目	意見・質問(要約)	市の回答・考え方
27	F	28	観光地ブランド形成に向けたストーリー構築	これまでに安曇野検定等で整理は進んでいると思う。強化する具体策を方針として打ち出しても良い。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
28	F	32	観光地マネジメント組織の設立検討	DMOはかなり以前よりスタートしたもので、すでにエコツーリズムの造成など民間レベルでは取り組みが進んでいる。研究・設立方針の検討では遅いのでは。	ご意見ありがとうございます。 本ビジョンに掲げる持続可能な観光地経営を実現するためには、観光地経営の視点に立った観光推進組織の構築が求められています。ご指摘のあった民間レベルの取組なども個々の取組やイベント的な単発事業に終わらず、地域一体で取り組むためのマネジメント組織による効率・効果的な推進が有効だと考えています。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺いし、今後の施策展開の参考にさせていただきます。
29	F	45	イベントによる観光交流人口の拡大	これからの時代は感染症対策が求められ、特に日本人の性格上、人の集まるイベントの開催は多くの費用がかかると予想される。欧米は現在の新型コロナは波を繰り返しながらしばらくは続く予想し、withコロナで経済を回している。感染症は新型コロナだけではなく、今後も新たなウイルスや細菌による脅威が続く中、如何にして人を分散させるかも検討課題に加えるべきと考える。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
30	F	48	観光人材の育成と活用	プロフェッショナルを育てることも重要だが、市民の観光に対する意識の向上がまず第一にあるべきだと思う。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の点については、49頁の施策3-1-4「来てみてよかった安曇野づくり」の中で取り組むこととしています。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
31	F	49	来てみてよかった安曇野づくり	学校だけでなく地区の学習会などの開催もさらに推進すべき。さらにおもてなしの前にまず市民が住んでいる場所に誇りを感じる事、それをサポートする行政の仕組みも整備する必要がある。例えば安曇野の風景で代表される屋敷林も、子孫への配慮などからどんどん切られ少なくなっている。個人の財産に介入できない部分はあるが、観光資源が失われては観光ボランティアの意欲も失われてしまう。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の点については、49頁の施策3-1-4「来てみてよかった安曇野づくり」の中で取り組むこととしています。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

No.	提出者	頁	項目	意見・質問(要約)	市の回答・考え方
32	F	50	地域資源の磨き上げ	安曇野の良さは「何もない田園地帯とアルプスの風景」。四季折々違った風景が楽しめるだけでなく、そこに育まれた自然や文化が多く点在している。 写真を撮るのが好きな人は、人の少ない冬に魅力を感じるが、安曇野では冬にのんびりしたくともシェアサイクルは無く、トイレも多くが閉まっている。	ご意見ありがとうございます。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺いし、今後の施策展開の参考にさせていただきます。
33	F	52	新しい時代の滞在型観光の振興	冬は大町や松本のようにウィンタースポーツに適した場所もないので、どうしても来客は少なくなりがち。あわせるように美術館などの休館も多く、民間施設ではやむを得ない部分があるが、一方で屋内での体験などはゆっくり楽しめる期間でもある。季節変動の平準化のためにも拠点となる屋内体験施設と冬期でも使えるトイレの設置を望む。実際、穂高温泉郷や明科廃線敷などはトイレがなく困っている人が散見された。	ご意見ありがとうございます。 ご提案いただいた件につきましては、ご意見としてお伺いし、今後の施策展開の参考にさせていただきます。
34	G	32 56 64	持続可能なマネジメント体制の構築 観光地AZUMINO向上プロジェクト 推進体制	持続可能なマネジメント体制の構築、観光地AZUMINO向上プロジェクトの実施内容では観光協会や観光事業者などと現状の立ちの整理、観光地マネジメント組織のあり方の明確化とあるが、「推進体制」としては「観光振興ビジョン推進委員会(仮称)」では第1次と変わらず、行政・観光協会・市民・事業者との役割分担が不明確で機能するか気がかり。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の持続可能なマネジメント体制については32頁の施策1-2-1「持続可能なマネジメント体制の構築」で掲載しております。また、各種施策・事業を推進する体制として地域一体で観光振興に取り組むイメージを64頁に掲載し、この各推進体制の役割を65頁に掲載しています。また、計画の進捗管理は、第1次では明文化されていなかった反省点を踏まえ、66、67頁に評価の時期や役割、方法を明文化しました。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
35	G	15 16 23 38	二次交通の整備	具体策としてはシェアサイクルの拡充のみで、JR大糸線の利用促進、近隣自治体と連携した定時路線バスの運行計画の検討が計画にないのが残念。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の点については、37頁の施策1-3-3「MaaSの推進」の中で取り組むこととしています。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
36	G	15 16 23 38	二次交通の整備	自転車活用を進めるのであれば道路の案内表示の整備拡充、安全走行の環境整備、自転車ドライバーを含めた交通ルールの啓発も重要。また、サイクルオアシスの指定だけでなく、整備サービス店舗拡充、整備技術者の養成も必要だと考える。そのためにも、自転車産業の誘致も構想としてあってほしいと思う。長野県は持続可能社会を目指しており、自動車生産から転換が迫られている企業の異業種進出の可能性もあると思う。「観光振興ビジョン推進体制」は現実的でなければいけないが、ビジョンであるからには夢もあって欲しい。	ご意見ありがとうございます。 ご意見を踏まえ、今後の施策の展開に当たっては必要に応じ関係部署と調整の上、進めていきます。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。